

|                        |  |
|------------------------|--|
| パブリック・サービス研究分科会 5月 報告書 |  |
| 日時                     | 2014年5月26日(月) 13:00~17:00                                      |
| 場所                     | 明星大学 図書館   |
| 記録                     | 太田(明星大学)   |
| 参加者<br>(氏名五十音順)        | 太田(明星大学)、佐藤(獨協大学)、橋本(成城大学)、<br>長谷川(中央大学)、古庄(国立音学大学)、山本(日本体育大学) |

**【事務連絡】 13:00~13:30**

今年度の活動予定および予算を確認した。

**【図書館見学】 13:30~14:30**

今回の会場である明星大学図書館を見学。開架フロアと談話スペースおよびグループ学習室の様子を見学。また、自動化書庫の出入庫の様子を見学した。

**【今期の研究テーマについて意見交換】 14:30~17:00**

各自、関心のあるテーマについて発表した。発表に先立ち、方針の提案があった。

1. 「スタートブック」を掘り下げる。テーマによってグループ分けをしてはどうか。
2. 学生アンケートを行い、学生の意見を徹底的に集めてはどうか。

○各会員の関心事

- ・特徴のある活動の事例調査。データ分析によって図書館活動が大学や学生にどのように貢献しているかを論証する。
- ・学生ボランティアと協働しての実践活動を行う。学生の声をあつめて活動報告としてまとめる。
- ・他部署との連携について。教員との連携について。場としての図書館論から人と人のかかわりとして図書館を研究する。
- ・読書推進活動。本と学生をむすぶ方法。ブックフェア、キャンペーン等の活動を写真集もしくはマニュアルの形にまとめる。図書館総合展に出展する。
- ・図書館の利用者を増やすための事例研究。専任職員だからこそできるサービスとは何かを研究する。
- ・大学図書館の一般開放についての実態調査(学内の安全性、学内利用者の満足度)。業務委託の実態調査(サービスの質保証、専任職員の役割)。

**【次回までの課題】**

学生にどのようなことを聞きたいか、各自の関心に沿って質問を考えてくる。

以上